

牧草と園藝



1

1995

ごあいさつ

1995年の輝かしい新春を迎え、皆様のご健勝とご繁栄を心より祈念し、併せて本年も変わらぬご愛顧とお引立を賜りますようお願いを申し上げます。また、日頃当事業への深いご理解とご協力を賜り、この機会に深く感謝の意を捧げます。



社 是

「健士健民」は我が社の理念より良き種子の開発、採種、流通より良き飼料の研究、製造、供給「農業奉公」の社是を通じてお役に立つよう真剣な努力を重ねてまいります。豊かな農業を育て、自然を守る愛される企業を目指します。

最近の激動する内外情勢の中で、依然としてわれら農業も厳しい環境下ではありますが、本年はいよいよ戦後50年を迎えます。この半世紀における農業界も幾度かの歴史的事象というべき大きな波を経験し、それを見事に乗り越えてきました。品種改良、耕種栽培、家畜飼養、機器の装備、諸施設等の研究と実践・技術向上の進展は目を見張るほどの内容で素晴らしい成果が着実に現れています。

悠久と続く歳月の流れでの50年は宇宙規模からみればほんの一瞬かも知れませんが、一年一昔といわれるほどの変遷目まぐるしい現代にあっては、重みのある50年であることは事実です。そして、21世紀までには残り5年となる本年はまさに時代の節目であり、現在をしっかりと踏まえ未来への夢と希望の扉を大きく開き、新しい時代の農業を築き上げるときであります。

一昨年は集中豪雨と冷害、昨年は日照り続きと干害、この2年で全く両極端の異常気象を経験いたしました。やはり「地力」と「品種」の力を見せつけられた思いがいたします。

『美しい花とおいしい果実は万人の等しく喜び好むところである。花よ実も、よい根がなければ生まれない。よい根幹はよい土壌からでなければならない。これは平凡なわかりきったことではあるが、多くは花と実を得るのに急であって土壌をつくることを忘れがちである。農業をはじめ各産業、政治教育、社会改造に至るまでこの道理をかみしめ実施すれば誤りないのだが、花や実を得ることをあせり、根本を忘れるので失敗するのである。』〈反芻自戒、昭和39年11月、黒澤西蔵記〉

雪印種苗は、本年も優良種苗と技術の提供を通し「適品種」の開発に全力を挙げるとともに、土に命を吹きこむ緑肥・輪作体系の「地力」増進技術で新しい時代の農業に精いっぱいのお手伝いをさせていただきます。

新しい年を迎えるにあたり、皆様の一層のご活躍とご発展を重ねて祈念し、ご挨拶といたします。

平成7年 元旦

雪印種苗株式会社

取締役社長 森 昭

